

News Release

2013年12月11日

株式会社日立製作所

株式会社日立コンサルティング

株式会社日立システムズ

株式会社日立ソリューションズ

デスクトップ仮想化を中心とするクライアントソリューション事業を全面的に強化

日立クライアント統合ソリューション「Hitachi unified client experience platform」を体系化するとともに、専門組織を設立し、新たなビジネス価値の創出に最適なクライアント環境を実現

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび、株式会社日立コンサルティング(取締役社長:芦邊 洋司/以下、日立コンサルティング)、株式会社日立システムズ(取締役社長:高橋 直也/以下、日立システムズ)、株式会社日立ソリューションズ(取締役社長:佐久間 嘉一郎/以下、日立ソリューションズ)をはじめとする日立グループ各社とともに、デスクトップ仮想化^{*1}を中心とするクライアントソリューション事業を全面的に強化します。

具体的には、社内外のデータや経験・知識の統合的な活用による新たなビジネス価値の創出を支援するクライアント環境の実現をコンセプトとして、投資計画の策定から、設計、構築、運用までをトータルに支援する日立クライアント統合ソリューション「Hitachi unified client experience platform(日立ユニファイドクライアントエクスペリエンスプラットフォーム)」(以下、「日立クライアント統合ソリューション」)を体系化し、12月13日から順次提供を開始します。日立グループは、グループ内で長年培った VDI^{*2}システムの設計、構築、運用や、ワークスタイルの改革に関する豊富な経験・知識をもとに、日立グループ内の高信頼なクラウド(クラウドコンピューティング)、セキュリティ、ビッグデータ利活用に関する幅広い技術・製品・サービスを基盤として、多様な VDI ソフトウェアや最先端のスマートデバイス、コミュニケーションツール、パブリッククラウドサービスなどを組み合わせた、最適なクライアント環境を実現します。

また、VDI をはじめとするクライアント環境に関する専門的な経験・知識を有する約 100 人体制の日立グループ横断プロジェクト組織「クライアント統合ソリューションビジネス開発ラボ」(以下、「ビジネス開発ラボ」)を本日付で設立しました。今後、「ビジネス開発ラボ」が中心となり、「日立クライアント統合ソリューション」の積極的な提案と新たなソリューションの開発を推進し、2015 年度に、クライアントソリューション事業全体で 1,200 億円規模の売上高をめざします。

^{*1} デスクトップ仮想化: 従来、クライアント PC 上に直接構築されていたデスクトップ環境を、データセンターなどのサーバ上に構築し、従来のクライアント PC のほか、HDD をもたないシンクライアント、スマートデバイスなどのクライアント端末からアクセスし、利用できるようにする技術。

^{*2} VDI(Virtual Desktop Infrastructure): デスクトップ仮想化の技術を用いたクライアント環境(仮想デスクトップ環境)。

近年、多様なワークスタイルの実現や、投資効率の最適化、業務の生産性の向上、事業継続性の強化などを目的に、VDI システムの導入のニーズが高まっています。また、2014 年 4 月に予定されている Microsoft® のクライアント OS(Operating System)である Windows® XP のサポート終了を契機にクライアント環境の見直しを図り、VDI システムの導入や、スマートデバイスの活用を検討する動きが加速しています。

日立グループは、2004 年からシンクライアントを活用した VDI システムをいち早く導入し、テレワークやオフィスのフリーアドレス化など、ワークスタイルの改革にも先駆的に取り組み、現在では国内最大規模*3となる約 80,000 ユーザーが利用するシステムに拡大しています。また、グループ内で培った VDI システムの設計、構築、運用の経験・知識と、高性能・高信頼な IT プラットフォーム技術・製品・サービスを活用して、2005 年に「セキュアクライアントソリューション」として事業化し、このたび、約 15,000 ユーザーが利用する VDI システムが本格稼働した株式会社損害保険ジャパンをはじめ、多数の企業や自治体などへ提供しており、国内トップクラスの実績*4を有しています。

*3 2013 年 12 月 11 日時点で稼働している VDI システムとして。日立調べ。

*4 2012 年の国内クライアント仮想化市場におけるオンプレミスベンダー別の売上高でシェア 1 位。(出典: IDC Japan「2013 年国内クライアント仮想化市場ベンダー競合分析」、2013 年 8 月(#J13190104))

今回新たに体系化した「日立クライアント統合ソリューション」は、セキュリティの強化や、クライアント PC の運用管理負担の軽減を実現する「セキュアクライアントソリューション」のコンセプトを大きく進化させたもので、日立グループが約 10 年間にわたって培った、VDI システムの設計、構築、運用に関する豊富な経験・知識をもとに、中期的な視点で顧客に最適なクライアント環境の実現に向けた投資計画を策定する新サービス「クライアント環境構想策定支援コンサルティング」と、VDI システムの導入や運用にかかるコストを最適化する製品・サービス群を新たに整理、拡充した「システム資産・運用最適化ソリューション」で構成されます。

今回、「システム資産・運用最適化ソリューション」の新サービスとして、VDI システムをクラウドサービスとして提供する DaaS(Desktop as a Service: 仮想デスクトップサービス)の新サービスとして、システム規模やコストで選択できる「かんたん Private DaaS」および「ターミナルサービス型仮想デスクトップサービス/プライベート DaaS」を追加したほか、VDI システムの監視・運用を支援する「仮想化統合監視・運用サービス」を提供開始します。

日立グループは、これらのソリューションを活用し、グループ内の高信頼なクラウド、セキュリティ、ビッグデータ利活用に関する幅広い技術・製品・サービスを基盤として、多様な VDI ソフトウェアや最先端のスマートデバイス、コミュニケーションツール、パブリッククラウドサービスなどを組み合わせた、最適なクライアント環境を実現します。今後、本日付で設立した「ビジネス開発ラボ」を中心に、「日立クライアント統合ソリューション」の積極的な提案と新たなソリューションの開発を推進し、顧客のイノベーションの創出を支援していきます。

■「ビジネス開発ラボ」の概要

「ビジネス開発ラボ」は、VDI をはじめとするクライアント環境に関する専門的な経験・知識を有する約 100 人体制の日立グループ横断プロジェクト組織です。「日立クライアント統合ソリューション」に関するセミナーや個別顧客向けにワークショップを開催するなど、拡販活動を推進します。同時に、営業・SE の提案活動や導入の支援、問い合わせ対応を行い、その活動を通して把握した顧客のニーズや技術的な課題、ノウハウを集約し、新たなソリューションの開発を推進します。また、VDI 技術者などの人財育成を図り、事業拡大に向けた体制を強化していきます。

■「日立クライアント統合ソリューション」に含まれる新サービスの価格と提供開始時期

サービス名		提供元	価格	提供開始時期
クライアント環境構想策定支援 コンサルティング		日立コンサルティング	個別見積	2013 年 12 月 13 日
システム資産・ 運用最適化 ソリューション ^{*5}	かんたん Private DaaS	日立製作所	【リソース課金型】 1 サーバあたり 131,250 円/月～ (税抜 125,000 円/月～)	2014 年 1 月 31 日
			【ユーザー課金型】 1 ユーザーあたり 6,563 円/月～ (税抜 6,250 円/月～)	2014 年 5 月 30 日
	ターミナルサービス型 仮想デスクトップサービス /プライベート DaaS	日立システムズ	1 ユーザーあたり 3,045 円/月～ (税抜 2,900 円/月～)	2013 年 12 月 13 日
	仮想化統合監視・運用 サービス ^{*6}	日立システムズ	個別見積	2013 年 12 月 13 日

*5 今回、新たに拡充した 3 サービスのみを記載しています。

*6 従来提供している「仮想化統合監視・運用サービス」において、新たに VDI システムをサービス対象のシステムとして追加しました。

■本発表に際しての各社からのコメント

インターナショナルデータコーポレーションジャパン株式会社(IDC Japan 株式会社)

シニアマーケットアナリスト 渋谷 寛氏

2012 年の国内クライアント仮想化導入率は法人向けクライアントデバイスの稼働台数ベースで 16%を超えました。これはテクノロジー製品のライフサイクル理論における「キャズム」を超えた「アーリーマジョリティ」への浸透を意味し、事実、市場拡大の勢いは加速しています。仮想化技術とネットワークインフラの進化を背景に、情報漏えい対策を考慮しつつワークスタイル変革及び生産性向上を検討しているユーザー企業にとって、クライアント仮想化は有力なソリューションです。さらに、オンプレミス(構築型)に加え、仮想デスクトップサービス(DaaS)、モバイル仮想化(モバイルデバイスでの利用)とユーザーの選択肢は増えており、将来はエンドユーザーが仮想化技術を意識することなく利用する時代を迎えると考えております。こうした中、日立グループがクライアント統合ソリューション「Hitachi unified client experience platform」により、顧客提案の体系化と最適化をはかることは、成長市場への明確なメッセージとして多くのユーザーに受けとめられるものと期待しております。

ヴィエムウェア株式会社 代表取締役社長 三木 泰雄氏

ヴィエムウェア株式会社は、日立グループのクライアント統合ソリューション「Hitachi unified client experience platform」の発表を歓迎いたします。

日立グループの「Hitachi unified client experience platform」と VMware の「VMware Horizon View™」を含む「VMware Horizon™ Suite」を中心としたエンドユーザーコンピューティング製品群の連携により、お客様のワークスタイルの変革やマルチデバイスへの対応など更なる高い価値を提供し、お客様の IT 変革を支えられることを確信しています。

ヴィエムウェア株式会社は今後も日立グループ各社との協業を深め、デスクトップ仮想化ならびにサーバ仮想化製品とさらなる連携を行い、お客様のビジネスの成長に貢献してまいります。

シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社 代表取締役社長 マイケル キング氏

シトリックス・システムズ・ジャパンは、今回の「Hitachi unified client experience platform」を中心とした日立グループ各社のデスクトップ仮想化ソリューション事業の強化を歓迎します。弊社の Citrix® XenDesktop®をコアコンポーネントとした「かんたん Private DaaS」の市場投入をはじめ、全社的なデスクトップ仮想化ソリューション事業強化により、市場がますます活性化することを期待しています。シトリックスは、XenDesktop®をはじめとしたシトリックス製品の提供とデスクトップ仮想化環境の構築・運用両面での日立グループ各社とのさらなる連携により、お客様のビジネスの発展を支援してまいります。

■ 関連情報

日立のデスクトップ仮想化に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/vdi/>

■ 他社商標注記

- Citrix、XenDesktop は、Citrix Systems, Inc.の米国あるいはその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- VMware、VMware Horizon View、VMware Horizon Suite は、VMware, Inc.の米国および各国での登録商標または商標です。
- 記載の法人名、製品名は、それぞれの法人の商標または登録商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

クライアント統合ソリューションビジネス開発ラボ

E-mail: vdi-toiawase@ml.itg.hitachi.co.jp

以 上

■「日立クライアント統合ソリューション」の概要

1. 「クライアント環境構想策定支援コンサルティング」

社内外のデータや経験・知識の統合的な活用による新たなビジネス価値の創出を支援するクライアント環境の実現をコンセプトとして、日立グループが約10年間にわたって培った、VDIシステムの設計、構築、運用や、ワークスタイルの改革に関する豊富な経験・知識をもとに、顧客に最適なクライアント環境の構想と投資計画の策定を支援する「クライアント環境構想策定支援コンサルティング」を提供します。具体的には、顧客の従業員の働き方を部署や職種ごとに分析し、中期的な視点で最適なクライアント環境とワークスタイルをモデル化するとともに、VDIシステムを構成するサーバ・ストレージ・ソフトウェアや、PC、スマートデバイスをはじめとするクライアント端末などのIT資産の導入から運用、更新までのライフサイクルを顧客の利用状況に基づいて検討し、将来的なクライアント環境の構想や投資計画の策定を支援します。

2. 「システム資産・運用最適化ソリューション」

VDIシステムを効率的に実現する「VDIプラットフォーム」と、システムの運用を支援するサービス、スマートデバイスやクラウドの活用、セキュリティの強化などに関する周辺製品・サービスのラインアップを整理、拡充しました。本ソリューションの活用により、VDIシステムの構築、管理、運用にかかるコストの最適化を実現します。

(1)顧客のニーズに応じた「VDIプラットフォーム」の提供

VDIシステムを構成するサーバなどのIT資産の設置場所や保有形態、システム規模などに応じて選択できる「VDIプラットフォーム」のラインアップを整理、拡充しました。

具体的には、VDIシステムをサービスで利用する場合に、日立グループのデータセンターから提供するパブリッククラウド型のDaaSに加えて、新たに、顧客指定のデータセンターに日立グループの資産としてサーバなどを設置し、稼働維持や保守などを行うプライベートクラウド型のDaaS「かんたん Private DaaS」を開発しました。さらに、中堅・中小企業やコストパフォーマンスをより重視される顧客向けに、日立グループのデータセンターに顧客占有のサーバなどを準備し、既存の社内システムとの接続も可能なバーチャルプライベートクラウド型のDaaS「ターミナルサービス型仮想デスクトップサービス/プライベート DaaS」を開発しました。

また、顧客自身がVDIシステムを構成するIT資産を保有する場合には、VDIソフトウェアを利用したシステム構築だけでなく、10月4日に販売開始したVDIシステム向けの日立統合プラットフォーム「Hitachi Unified Compute Platform かんたん VDI モデル」などを活用することで、より迅速かつ容易な構築、運用を実現します。

(2)VDIシステムの運用を支援するサービスによるコスト最適化

VDIシステムの運用に関して、システム基盤の監視やヘルプデスク、システム性能の分析・改善提案などのサービスを提供します。今回、日立グループが顧客のITシステムの監視・運用を支援することで、運用人員を削減しながらシステムの安定稼働を実現する「仮想化統合監視・運用サービス」を新たにVDIシステムにも適用し、運用コストの最適化を実現します。

(3)多様な周辺製品・サービスとの連携による最適なワークスタイルの実現とビジネス価値創出の支援

スマートデバイスをはじめとする多様なクライアント端末の導入から廃却までのライフサイクルの管理や、パブリッククラウドサービスなどの活用を支える各種サービス、情報漏洩防止ソリューション「秘文」をはじめとする日立セキュリティソリューション「Secureplaza」など、日立グループの周辺製品・サービスを VDI システムに組み合わせて活用し、顧客に最適なワークスタイルと、社内外のデータや経験・知識の統合的な活用による新たなビジネス価値の創出を支援します。

■「日立クライアント統合ソリューション」のラインアップ一覧(下線部が今回発表した新サービス)

1.「クライアント環境構想策定支援コンサルティング」

製品・サービス区分	概要	提供元
コンサルティング	顧客に最適なクライアント環境とワークスタイルに関する構想と投資計画の策定を支援するコンサルティングサービス。	日立コンサルティング

2.「システム資産・運用最適化ソリューション」

(1)「VDI プラットフォーム」

製品・サービス区分	代表的な製品・サービス名と概要	提供元
VDIシステム構築向け統合プラットフォーム	【Hitachi Unified Compute Platform かんたん VDI モデル】 ・VDI システムの構築に必要なハードウェアやソフトウェアを事前検証済みの構成で提供し、VDI システムの迅速かつ容易な構築、運用を実現する統合プラットフォーム。 【仮想化環境構築向け統合プラットフォーム活用による VDI システム構築】 ・VDI システムの構成に関して強い要望がある顧客に対して、サーバ仮想化環境の構築に必要なハードウェアやソフトウェアを事前検証済みの構成で提供し、サーバ仮想化環境の迅速かつ容易な構築、運用を実現する統合プラットフォーム「Hitachi Unified Compute Platform かんたん仮想化モデル」を活用して、構築したサーバ仮想化環境の上に、顧客が指定する VDI システムを構築。	日立製作所
プライベートクラウド型 DaaS	【かんたん Private DaaS】 ・顧客指定のデータセンターに日立グループの資産として「Hitachi Unified Compute Platform かんたん VDI モデル」を設置し、日立グループが運用と稼働維持を行うプライベートクラウド型の DaaS。	日立製作所
バーチャルプライベート型 DaaS	【ターミナルサービス型仮想デスクトップサービス/プライベート DaaS】 ・中堅・中小企業や、同時接続数や性能確保よりもコストパフォーマンスを重視する顧客向けに、日立システムズのデータセンターに顧客専有のリソースを準備するバーチャルプライベートクラウド型の DaaS。	日立システムズ
パブリッククラウド型 DaaS	【プラットフォームリソース提供サービス クライアントサービス】 ・高信頼かつ企業ユース向けのカスタマイズ性の高い VDI を提供するパブリッククラウド型の DaaS。	日立製作所
	【仮想 PC 型シンクライアントサービス 月額提供型サービス】 ・拡張性の高い仮想 PC 型の VDI 環境を提供するパブリッククラウド型の DaaS。 【ターミナルサービス型仮想デスクトップサービス/パブリック DaaS】 ・1 ユーザー、1 カ月から利用可能な、中堅・中小企業向けのパブリッククラウド型の DaaS。	日立システムズ

(2)「VDI システム運用支援サービス」

製品・サービス区分	代表的な製品・サービス名と概要	提供元
運用支援・監視	【仮想化統合監視・運用サービス*1】 ・監視、運用支援、診断分析、セキュリティの 4 区分で、専任の技術者が 24 時間 365 日体制でワンストップ提供するリモート運用サービス。	日立システムズ
ヘルプデスク	【ヘルプデスクサービス】 ・ハードウェアやソフトウェアに関する障害受付や問い合わせ対応について企業の情報システム部門に代わって対応するサービス。	日立システムズ
性能分析・改善提案	【性能分析・改善提案サービス】 ・サーバやストレージ、ネットワーク機器などのシステム基盤の性能情報を分析、診断するサービス。	日立システムズ

*1 従来提供している「仮想化統合監視・運用サービス」において、新たに VDI システムをサービス対象のシステムとして追加しました。

(3)「周辺製品・サービス」

製品・サービス区分	代表的な製品・サービス名と概要	提供元
スマートデバイス活用	【スマートデバイストータルマネージドサービス】 ・スマートデバイス導入に関して、コンサルティングからキッティング、運用・保守、回線契約、MDM(Mobile Device Management)/MAM(Mobile Application Management)までのライフサイクルのマネジメントサービス。	日立システムズ
	【スマートフォン セキュリティ統制サービス】 ・端末管理・ウイルス対策・なりすまし対策など、企業のスマートフォン利用に必要なセキュリティ対策をサービスとして提供。	日立ソリューションズ
	【法人向けモバイルデータ通信サービス】 ・ニーズに合わせてカスタマイズした最適の通信速度、通信量、セキュリティ要件に合わせた回線を提供。	日立ソリューションズ
	【JPI スマートデバイス管理サービス】 ・スマートデバイスの資産管理とセキュリティ対策機能を提供する SaaS(Software as a Service)。	日立製作所
クラウドサービス活用	【日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」】 ・PaaS(Platform as a Service)、SaaS、プライベートクラウド、業種・業務向けサービスを含めて 100 以上のサービスメニューを提供。 ・パートナー企業のパブリッククラウドとの連携を強化中。 ・高性能・高信頼なストレージ製品を活用し、ファイルデータの一元的な管理と効率的な利活用を可能にするクラウドストレージソリューションを提供。	日立製作所 日立システムズ 日立ソリューションズ 他
セキュリティ強化	【日立セキュリティソリューション「Secureplaza」】 ・データの暗号化やアクセスポイントの認証を実現する情報漏洩防止ソリューション「秘文シリーズ」など、企業のあらゆる情報リスクを、全方位からカバーするトータルソリューションを提供。	日立製作所 日立システムズ 日立ソリューションズ 他

■「日立クライアント統合ソリューション」の適用例

Windows® XPのサポート終了に際して、業務アプリケーションソフトウェアの改修が進まず、新しいOSへの移行が難しいソフトウェア資産について、予め登録したソフトウェアのみ動作を許可するホワイトリスト型セキュリティソフトの導入で、セキュリティを確保するとともに、VDIシステム導入により、端末のライフサイクルと業務のライフサイクルを切り分けることが可能です。その上で、業務のライフサイクルの観点からソフトウェア資産の棚卸しを実施し、将来的に拡張していく業務アプリケーションソフトウェアについては、今後利用するクライアント端末の形態を見据えて、最適な業務システム基盤を提案するなど、業務インフラの段階的な再構築の計画策定と実行を支援します。

以 上